

第7期のご報告

2017年4月1日～2018年3月31日



日新製糖株式会社

証券コード 2117

こころとからだに栄養を

愛情と信頼のマーク 「カップ印」のお砂糖



当社グループは つねにご満足いただける
製品とサービスで
多くの方々に笑顔をお届けできる
「総合甘味サプライヤー」を
目指しております。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
業績のご報告	3
事業セグメント別の概況	3
対処すべき課題	5
中期経営計画	6
連結財務諸表	9
個別財務諸表	11
連結財務ハイライト	13
企業情報	14
株主還元について	15
株主メモ	裏表紙

株主の皆様へ



代表取締役社長

樋口 洋一

— 経営理念 —

豊かで快適な生活の実現のため、
『食』と『健康』で貢献する。

- 公正で透明性の高い経営を実践することにより、社会から信頼される企業を目指します。
- 会社の業績向上を図ることにより、社会に貢献するとともに、従業員・お客様・株主様などの信頼と期待にお応えします。
- 健康に資する安全な製品・サービスを安定的に提供することにより、お客様の満足と安心を実現します。

株主の皆様には、平素より日新製糖グループへの格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社は、半世紀以上にわたり、「豊かで快適な生活の実現のため、『食』と『健康』で貢献する。」を使命として、「日々新たに」をモットーに事業を行ってまいりました。

当社グループの主力事業である砂糖事業につきましては、代替甘味料の増加、少子高齢化や嗜好の変化等による砂糖需要の漸減という厳しい経営環境におかれる中、付加価値向上への取り組みとともに、新たな事業領域への展開が求められる環境になっております。

こうした状況のもと、2020年3月期までの中期経営計画に基づき、収益基盤である精製糖事業においては、経営品質・経営効率No.1企業を目指すとともに、「総合甘味サプライヤー」としての商材の拡充、M&A等による国内外における事業領域の拡大、健康産業事業の新業態展開などの成長戦略を推進しております。

また同時に、これらの事業戦略を進めるための経営基盤強化として、人材育成・業務効率化・リスク管理・CSR・IRの5重点課題を設定し、取り組んでおります。

2017年10月には、ツキオカフィルム製薬株式会社を子会社化し、当社グループの食品関連分野の商品ラインナップを拡充するとともに、化粧品・医薬品にまで広がる同社の事業を当社グループの成長ドライバーとして取り込みました。これにより、販売、購買等の各分野においてシナジーを発揮し、同社の力を最大限に引き出すべく、注力してまいります。

今後もこれらの施策を着実に実行し、企業価値の向上に努めるとともに、公正で透明性の高い事業運営を行い、すべてのステークホルダーの皆様の信頼とご期待にお応えすべく、グループ役職員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月
代表取締役社長 樋口 洋一

業績のご報告

当期におけるわが国の経済は、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善による個人消費が寄与し、緩やかな回復基調が続いています。

当期の業績は、売上高は48,802百万円(前期比2.3%減)、営業利益は2,065百万円(同24.5%減)、経常利益は2,568百万円(同16.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,874百万円(同26.6%減、前期には固定資産売却益391百万円を計上)となりました。

事業セグメント別の概況

当社グループは、当社、子会社8社および関連会社6社により構成されています。

当期より、セグメント情報の開示の充実のため、従来の「砂糖その他食品事業」に加え、「健康産業事業」、「倉庫事業」を報告セグメントとしています。なお、前期比較においては、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

また、第3四半期連結会計期間において、中期経営計画に掲げる事業領域の拡大の一環として、ツキオカフィルム製薬株式会社を連結子会社化しており、第4四半期連結会計期間から砂糖その他食品事業の連結業績に含めています。

セグメントの概況は以下のとおりです。

主要な事業内容

砂糖その他食品事業

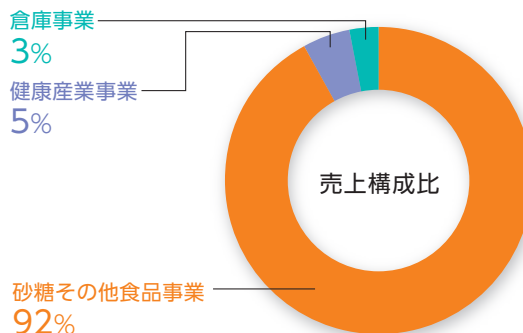
主に砂糖の製造・販売を中心として、甘味料やその他の食品ならびに関連する商品の販売を行っています。

健康産業事業

主に総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」と女性専用のホットヨガ＆コラーゲンスタジオ「BLEDA(ブレダ)」を運営しています。

倉庫事業

主に冷蔵倉庫・普通倉庫を保有し、保管・荷役・港湾運送業務を行っています。



砂糖その他食品事業

海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり16.93セントで始まり、同日当期高値となる17.18セントまで上昇しました。その後は、最大の生産国ブラジルにおけるサトウキビの順調な圧搾やインド・タイ・欧州など主要生産国の増産見通しによる世界砂糖需給の供給過剰感から軟調に推移し、3月下旬には当期安値となる12.18セントまで下落し、12.35セントで当期を終了しました。



一方、国内精糖市況(日本経済新聞掲載、東京)につきましては、上白糖1kg当たり195~196円で始まり、ニューヨーク市場粗糖先物相場の下落を受け、7月中旬には189~190円と6円下落し、そのまま当期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、飲料向けや当社独自製品である「きび砂糖[®]」「フロスト[®]シュガー」が好調であったものの、家庭用製品の出荷量が減少したことで、全体の出荷量は前期を下回りました。その他の甘味料につきましては、家庭用のガラクトオリゴ糖入りシロップ「オリゴの王様[®]」を上市し、量販店への導入を進めました。

利益面では、前期の海外原糖相場の乱高下に端を発した家庭用製品を中心とする競争の激化、当上期の製品市況の大幅下落時における高値在庫および退職給付費用等の経費増が減益要因となりました。

その結果、砂糖その他食品事業合計の売上高は45,184百万円(前期比2.6%減)、セグメント利益は1,745百万円(同26.5%減)となりました。

健康産業事業

健康産業事業におきましては、総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」と女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ「BLEDA(ブレダ)」を展開しています。4月に「BLEDA(ブレダ)」浦和美園店をオープンし、売上高は2,309百万円(前期比4.6%増)となりましたが、新店舗開業費用の発生や既存店における人件費の上昇等により、セグメント利益は前期並みの105百万円(同1.8%減)となりました。



倉庫事業

倉庫事業におきましては、普通倉庫における輸入合板等の保管在庫の減少により、売上高は1,307百万円(前期比3.5%減)、セグメント利益は214百万円(同15.2%減)となりました。



対処すべき課題

当社を取り巻く経営環境につきましては、主力の砂糖その他食品事業において、2016砂糖年度（2016年10月から2017年9月まで）に国内砂糖消費が再び減少に転じ、人口減少が続くなかで厳しい状況が続くものと予想されます。また、2018年3月に、米国を除く「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定」（TPP11協定）の署名がなされ、各国の国内手続きを待つ状況にありますが、我が国においては、現行の糖価調整制度が維持され、競合商品である加糖調製品に対しても、協定の発効後、制度の枠組みに組み入れる法案が提出されています。

こうした状況のもと、当社グループでは、2019年度までの中期経営計画に基づき、精製糖事業の経営品質・経営効率No.1企業を目指すとともに、「総合甘味サプライヤー」としての商材の拡充と国内外における事業領域の拡大に向けた施策を実施しております。

精製糖事業においては、今福工場（大阪市城東区）において、多様化する需要に対応し、ハラル製品の出荷を開始いたしましたほか、製品品質の安全・安心の向上を目指したFSSC22000認証の全製品への適用拡大に向けた設備更新、販売好調の「きび砂糖[®]」の需要増に対応した生産設備の新設に着手しております。また、詰め替え不要で使いやすい新シリーズ「ボックスシュガーミニ」につきましては、白砂糖、グラニュー糖に加え、「きび砂糖[®]SPECIAL」を2018年2月に上市しております。

拡大・成長に向けた施策においては、全国に広がる当社グループのお客様に対し、甘味料に関する知見、物流機能および品質管理体制に基づき、国内外の甘味料や食品素材を提供することにより、「総合甘味サプライヤー」として貢献してまいります。なかでも、2017年5月に上市した「オリゴの王様[®]」を始めとするガラクトオリゴ糖製品につきましては、腸内環境改善などの機能性をアピールし、消費者への浸透を進めてまいります。

また、2017年10月に当社グループに加わったツキオカフィルム製薬株式会社につきましては、当社グループの食品関連分野における商品ラインナップの拡充のほか、化粧品・医薬品にまで広がる事業が、当社の事業領域拡大に資するものと考えており、今後同社の成長に注力してまいります。

健康産業事業においては、総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」の運営に加え、美容・アンチエイジング・リラクゼーションをコンセプトにしたホットヨガ＆コラーゲンスタジオ「BLEDA（ブレダ）」を展開いたします。

倉庫事業においては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを前にした物流需要の増大に的確に対応し、業績の向上を目指してまいります。

これらの成長・拡大を支える経営基盤の強化につきましては、同じく中期経営計画に基づき、成長に向けた人材の育成、業務効率化、リスク管理・CSR・IRの強化の各方面において取り組んでおります。IRにおきましては、業績の適切な反映と海外投資家を含めた幅広い投資家の比較・分析上の利便性向上を目的とし、2020年3月期に国際財務報告基準（IFRS）を任意適用することを公表し、準備を進めております。

今後も、以上の諸施策を着実に実行し、企業価値の向上に努めるとともに、公正で透明性の高い事業運営を行い、すべてのステークホルダーの皆様の信頼とご期待にお応えしてまいります。



中期経営計画（2019年3月期～2020年3月期）

〔中期経営計画の要旨〕

- ・精製糖事業の経営品質・経営効率No.1企業を目指します。
- ・当社グループの強みを活かして新たな事業・商材に挑戦し、「総合甘味サプライヤー」として拡大・成長を図ります。また、ツキオカフィルム製菓をはじめとする国内外における新たな事業展開を推進します。
- ・健康産業事業における、美容・アンチエイジング・リラクゼーションをキーコンセプトとして時代のニーズに合わせた多様な店舗展開を推進します。
- ・以上の取り組みを支えるため、ガバナンス体制の整備、成長に向けた人材の育成、業務効率化等の経営基盤強化を推進します。

当社グループは、株主資本利益率(ROE)を持続的な企業価値増大に関わる中核的な指標と捉えており、以上の経営戦略により、2020年3月期ROE 5%、2025年3月期ROE 8%の達成を目指してまいります。

■ 2019年3月期～2020年3月期の業績目標

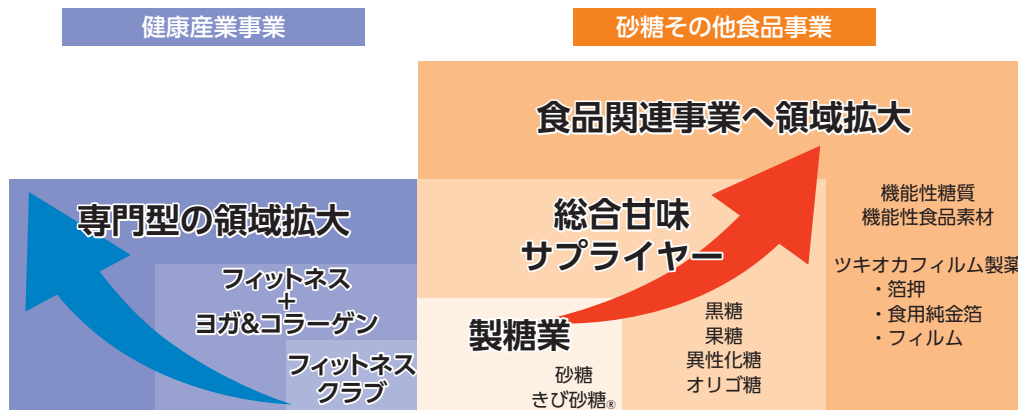
	2018年3月期 実績	2019年3月期	2020年3月期
売上高（百万円）	48,802	49,000	51,000
営業利益（百万円）	2,065	2,800	3,200
経常利益（百万円）	2,568	3,000	3,600
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,874	2,100	2,600
ROE	3.7%	4.1%	5.1%

(注) 本資料に含まれる将来の計画に関する記載は、本資料の発表日(2018年5月24日)現在において、入手可能な情報および仮定に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因により計画と異なる可能性があります。

※ なお、詳細につきましては、2018年6月1日開催の決算・中期経営計画説明会(アナリスト・機関投資家向け)における説明資料を当社ホームページに掲載しております。

■ 事業領域拡大イメージ

伝統2事業の領域を連続的に拡大し、食と健康で貢献するミッションを持続的に実現する



■ 精製糖事業の経営品質・経営効率No. 1 企業を目指す

- ・コスト競争力の強化と製品品質の安心・安全向上
- ・強みであるブランド力・商品力・販売力を一層強化

● 今福工場における食品安全向上の取り組み

FSSC22000認証の取得

- ◆ 液糖・バルク製品(2016年3月)
- ◆ 全製品への適用拡大

● ハラル認証の取得(今福工場)

2017年3月に今福工場生産品(冰糖除く)について認証取得

東南アジアへの輸出用飲料・食品向けなど着実に増加する需要に対応

● CSR活動への取り組み

ライフスタイル提案、環境、責任調達など6つのCSR重点領域を選定し、CSR活動を推進

● 付加価値の高い独自製品を強化

きび砂糖®

- ◆ 1984年の発売開始以来、家庭用市場縮小の中、継続的に販売量が増加
- ◆ 2019年より今福工場で生産開始予定→東西2工場で全国ベースの需要増に対応
- ◆ お店でも「きび砂糖®」をご愛用頂いている有名和食料理店「賛否両論」店主、笠原将弘氏を起用した広報活動を展開
- ◆ 「ABCクッキングスタジオ」のオススメアイテムとして授業内で使用



フロスト®シュガー

- ◆ 顆粒状で水に溶けやすい
- ◆ 1968年に業界で初めて生産を手がけた商品
- ◆ ヨーグルト用に加え、チョコレート製造との相性が良く、カカオポリフェノール効果から近年好調のチョコレート消費により需要が拡大



ボックスシュガーミニ

- ◆ “詰め替え不要で使いやすい”業界初のチャック付きボックスタイプ
- ◆ 上白糖、グラニュー糖に続き、「きび砂糖®」タイプを2018年2月に新発売
- ◆ 小家族化、家庭内調理の減少など、多様な顧客ニーズに応える新たな需要の掘り起こし





■ 総合甘味サプライヤーとしての商材の拡充

● ガラクトオリゴ糖(商品名:カップオリゴ®)の拡販

- ◆ 2017年5月に「オリゴの王様®」で家庭用市場に参入
当社ネットショップ限定商品3品とあわせて計4品を上市
- ◆ 腸内環境改善効果(プレバイオティクス)
熱や酸に強いので腸に届きやすく、ビフィズス菌の増殖効果がある。
- ◆ 難消化性・低カロリー
カロリーは砂糖のほぼ半分
小腸内の消化酵素に分解されず大腸に到達するため、エネルギーになりにくい
- ◆ 原料が乳糖であり、母乳にも含まれる安心・安全な素材

腸内環境を整えることによる効果

- カルシウムやマグネシウムなどのミネラル類の吸収を助ける。
- 血液中の総コレステロールや中性脂肪を減らし、善玉コレステロールの比率を高める。
- 腸内フローラ活性化による脳への影響から、認知症やうつ病の予防効果の可能性



■ 国内外における事業領域の拡大

2017年10月31日に、ツキオカフィルム製菓株式会社の株式80%を取得し、子会社化

- ◆ 食品関連において、非砂糖分野の製品ラインを拡充
- ◆ 化粧品・医薬品にまで広がる伸長性のある製品群が当社の事業領域を拡大

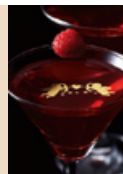
箔押事業

- 国内最大級の箔押加工工場
- 高精度の加工技術とISO9001に基づく品質管理



食用純金箔事業

- 純度99.99%の食用純金箔・純銀箔
- バリエーションに富んだ製品群、海外輸出も伸長



フィルム事業

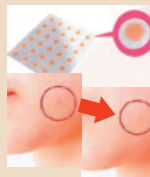
可食フィルム

- 溶けて無くなる環境にも配慮した素材
- 機能性素材、調味料などのフィルム化で新たな価値の創造



フィルム化粧品

- 携帯の利便性
- 取扱い易さ
- 極薄のナノフィルム活用



フィルム製剤

- 第一種・第二種医薬品製造販売許可取得
- 水なしで飲める薬効の新たなデリバリーシステム



■ 健康産業 (スポーツクラブ・ヨガスタジオ)

● 幅広い潜在利用者を意識して、事業を多様化・専門化



BLEDA
HOT YOGA & COLLAGEN STUDIO

美容・アンチエイジング・リラクゼーションがコンセプトの女性専用スタジオ

東京都、埼玉県、群馬県に計5店舗(「ブレダ新前橋」含む)
引き続き出店を計画

ドゥースポーツクラブ

総合型スポーツクラブ
東京都、埼玉県、群馬県に計5店舗



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2018年3月31日現在)	前 期 (2017年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	24,548	25,745
現金及び預金	11,134	13,351
受取手形及び売掛金	4,754	4,133
有価証券	2,599	1,600
商品及び製品	3,209	3,678
仕掛品	566	589
原材料及び貯蔵品	1,640	1,928
その他	643	464
貸倒引当金	△0	△0
固定資産	35,396	32,528
有形固定資産	15,079	13,997
建物及び構築物	3,758	3,655
機械装置及び運搬具	1,923	2,069
土地	8,606	7,860
その他	790	411
無形固定資産	1,471	178
のれん	1,338	—
その他	133	178
投資その他の資産	18,845	18,353
投資有価証券	16,848	16,582
繰延税金資産	657	638
退職給付に係る資産	466	264
その他	953	947
貸倒引当金	△80	△80
資産合計	59,945	58,273

科 目	当 期 (2018年3月31日現在)	前 期 (2017年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	6,253	5,445
支払手形及び買掛金	2,382	2,191
短期借入金	1,300	1,100
未払法人税等	208	372
賞与引当金	305	300
その他	2,057	1,480
固定負債	2,862	2,637
繰延税金負債	976	820
役員退職慰労引当金	171	267
退職給付に係る負債	123	132
再評価に係る繰延税金負債	1,077	1,077
その他	513	340
負債合計	9,115	8,082
(純資産の部)		
株主資本	47,488	47,205
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	12,020	12,020
利益剰余金	28,766	28,481
自己株式	△298	△297
その他の包括利益累計額	3,341	2,985
その他有価証券評価差額金	990	784
繰延ヘッジ損益	1	△1
土地再評価差額金	2,191	2,191
退職給付に係る調整累計額	157	11
純資産合計	50,830	50,190
負債純資産合計	59,945	58,273

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり純資産額 2,302円13銭



連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2017年4月 1日から 2018年3月31日まで)	前 期 (2016年4月 1日から 2017年3月31日まで)
売上高	48,802	49,942
売上原価	39,348	39,968
売上総利益	9,454	9,973
販売費及び一般管理費	7,388	7,237
営業利益	2,065	2,735
営業外収益	541	383
受取利息	3	6
受取配当金	263	72
持分法による投資利益	241	284
その他	32	19
営業外費用	38	45
支払利息	17	11
為替差損	—	11
支払手数料	13	13
その他	7	9
経常利益	2,568	3,073
特別利益	2	435
固定資産売却益	2	391
資産除去債務戻入益	—	44
特別損失	58	120
固定資産除却損	49	116
固定資産売却損	2	—
ゴルフ会員権評価損	—	4
その他	6	—
税金等調整前当期純利益	2,511	3,388
法人税、住民税及び事業税	636	759
法人税等調整額	0	74
当期純利益	1,874	2,554
親会社株主に帰属する当期純利益	1,874	2,554

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益 84円90銭

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2017年4月 1日から 2018年3月31日まで)	前 期 (2016年4月 1日から 2017年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,710	1,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,948	2,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,979	△2,069
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,217	2,231
現金及び現金同等物の期首残高	10,921	8,689
現金及び現金同等物の期末残高	9,704	10,921

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当期 (2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	7,000	12,020	28,481	△297	47,205	784	△1	2,191	11	2,985	50,190
当期変動額											
剰余金の配当			△1,589		△1,589						△1,589
親会社株主に帰属する当期純利益			1,874		1,874						1,874
自己株式の取得				△1	△1						△1
株主資本以外の項目の 当中の変動額(純額)						205	3	—	146	355	355
当期変動額合計	—	—	284	△1	283	205	3	—	146	355	639
当期末残高	7,000	12,020	28,766	△298	47,488	990	1	2,191	157	3,341	50,830

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2018年3月31日現在)	前 期 (2017年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	23,420	25,533
現金及び預金	10,582	13,276
売掛金	4,166	3,875
有価証券	2,599	1,600
商品及び製品	3,212	3,677
仕掛品	539	589
原材料及び貯蔵品	1,476	1,919
前払費用	81	81
繰延税金資産	207	215
関係会社短期貸付金	403	240
その他	151	56
固定資産	34,530	31,631
有形固定資産	11,715	11,540
建物	2,356	2,449
構築物	156	176
機械及び装置	1,094	1,142
車両運搬具	7	7
工具器具備品	81	84
土地	7,491	7,491
リース資産	113	143
建設仮勘定	414	44
無形固定資産	125	162
ソフトウェア	108	130
その他	17	32
投資その他の資産	22,688	19,928
投資有価証券	4,525	4,203
関係会社株式	15,191	14,336
関係会社長期貸付金	2,427	840
前払年金費用	239	248
その他	385	381
貸倒引当金	△80	△80
資産合計	57,951	57,164

科 目	当 期 (2018年3月31日現在)	前 期 (2017年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	5,651	5,341
買掛金	2,342	2,238
短期借入金	1,468	1,348
リース債務	17	21
未払金	280	227
未払費用	816	869
未払法人税等	177	305
賞与引当金	247	253
その他	300	77
固定負債	2,276	2,256
リース債務	70	88
繰延税金負債	845	742
役員退職慰労引当金	150	208
再評価に係る繰延税金負債	1,077	1,077
その他	131	139
負債合計	7,927	7,597
(純資産の部)		
株主資本	46,863	46,626
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	24,318	24,318
資本準備金	1,750	1,750
その他資本剰余金	22,568	22,568
利益剰余金	15,843	15,605
その他利益剰余金	15,843	15,605
繰越利益剰余金	15,843	15,605
自己株式	△298	△297
評価・換算差額等	3,160	2,940
その他有価証券評価差額金	967	751
繰延ヘッジ損益	1	△1
土地再評価差額金	2,191	2,191
純資産合計	50,023	49,566
負債純資産合計	57,951	57,164

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1 株当たり純資産額 2,265円61銭



損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2017年4月 1日から 2018年3月31日まで)	前 期 (2016年4月 1日から 2017年3月31日まで)
売上高	44,888	46,421
売上原価	36,237	37,037
売上総利益	8,651	9,384
販売費及び一般管理費	6,870	6,897
営業利益	1,780	2,487
営業外収益	706	205
受取配当金	667	176
その他	39	28
営業外費用	30	44
支払利息	11	11
為替差損	—	11
支払手数料	13	13
その他	4	8
経常利益	2,456	2,647
特別利益	—	435
固定資産売却益	—	391
資産除去債務戻入益	—	44
特別損失	51	106
固定資産除却損	45	102
ゴルフ会員権評価損	—	4
その他	6	—
税引前当期純利益	2,405	2,976
法人税、住民税及び事業税	565	668
法人税等調整額	11	56
当期純利益	1,827	2,251

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益 82円79銭

株主資本等変動計算書

当期 (2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位：百万円)

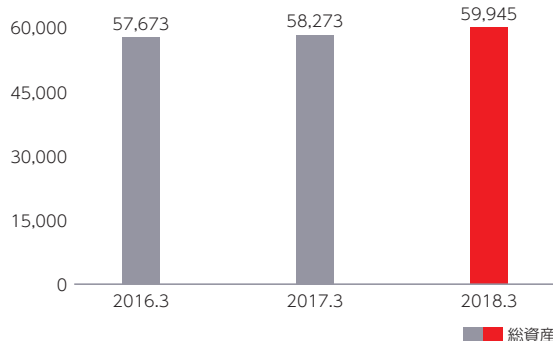
	株主資本							評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金							
					繰延利益剰余金							
当期首残高	7,000	1,750	22,568	24,318	15,605	△297	46,626	751	△1	2,191	2,940	49,566
当期変動額												
剰余金の配当					△1,589		△1,589					△1,589
当期純利益					1,827		1,827					1,827
自己株式の取得						△1	△1					△1
株主資本以外の項目の 当期中の変動額（純額）								216	3	—	219	219
当期変動額合計	—	—	—	—	238	△1	237	216	3	—	219	456
当期末残高	7,000	1,750	22,568	24,318	15,843	△298	46,863	967	1	2,191	3,160	50,023

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務ハイライト

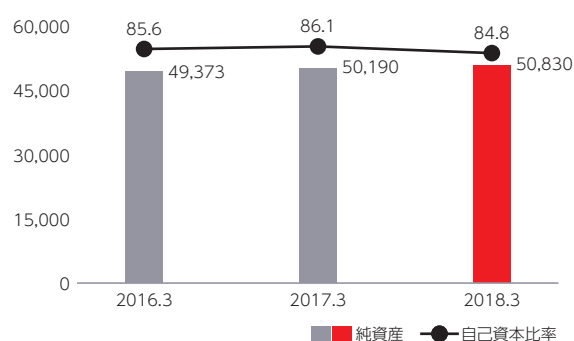
総資産

(単位: 百万円)



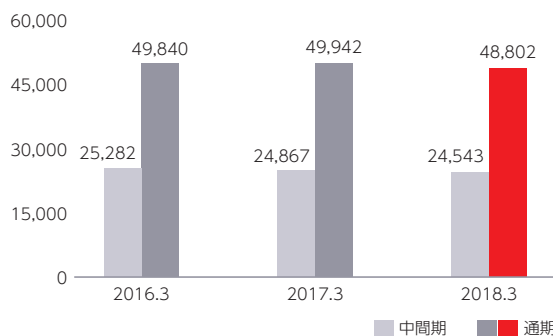
純資産(自己資本比率)

(単位: 百万円/%)



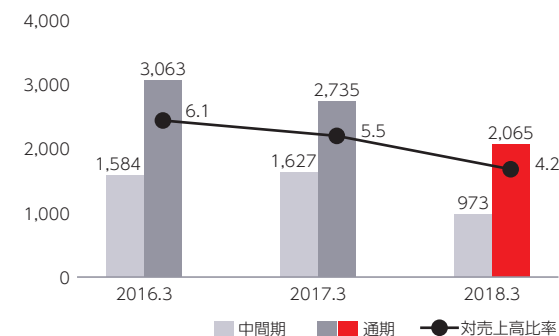
売上高

(単位: 百万円)



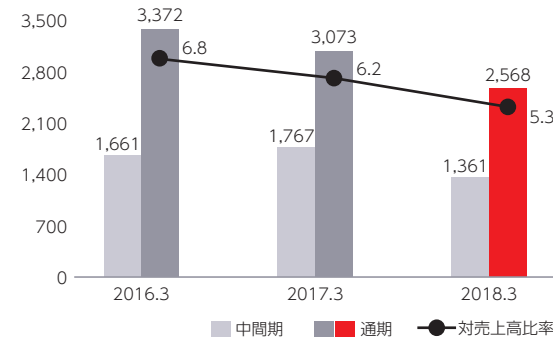
営業利益(対売上高比率)

(単位: 百万円/%)



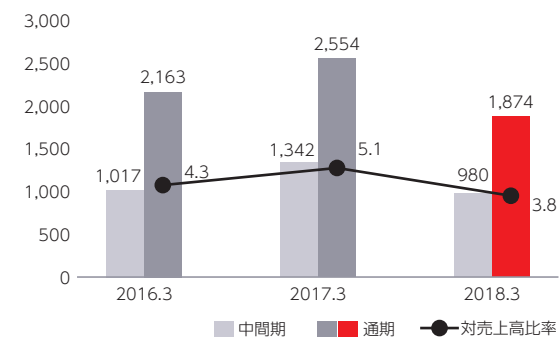
経常利益(対売上高比率)

(単位: 百万円/%)



親会社株主に帰属する当期純利益(対売上高比率)

(単位: 百万円/%)



企業情報 (2018年3月31日現在)



日新製糖株式会社

会社概要

商 号	日新製糖株式会社 (Nissin Sugar Co., Ltd.)
本 店 所 在 地	東京都中央区日本橋小網町14番1号
設 立	2011年10月3日
資 本 金	70億円
事 業 内 容	砂糖その他食品の製造販売
役 員	代表取締役社長執行役員社長 樋 口 洋 一
(2018年6月27日現在)	取締役専務執行役員 川 口 多 津 雄
	取締役専務執行役員 砂 岡 睦 夫
	取締役常務執行役員 森 永 剛 司
	取締役常務執行役員 大 久 保 亮 二
	取締役常務執行役員 高 野 義 二
	取締役執行役員 森 田 裕 之
	取締役相談役 竹 場 紀 生
	取締役 飯 塚 佳 都 子
	取締役 池 原 元 宏
	常 勤 監 査 役 青 砥 由 直
	監 査 役 前 田 浩 之
	監 査 役 延 増 拓 郎
	監 査 役 和 田 正 夫
	執 行 役 員 砂 坂 静 則
	執 行 役 員 柴 田 弥 之
	執 行 役 員 飯 塚 裕 之
	執 行 役 員 佐 々 木 洋 治

(注) 1. 取締役飯塚佳都子氏および取締役池原元宏氏は社外取締役、また監査役延増拓郎氏および監査役和田正夫氏は社外監査役です。

2. 当社は、2015年4月1日から執行役員制度を導入しております。

株式の状況

発行可能株式総数 90,000,000株
 発行済株式の総数 22,673,883株 (自己株式594,285株を含む)
 株 主 数 10,588名

大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友商事株式会社	8,296	37.6
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,304	5.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,109	5.0
株式会社三井住友銀行	739	3.3
三井住友信託銀行株式会社	600	2.7
ブルドックス株式会社	399	1.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	336	1.5
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	320	1.5
むさし証券株式会社	306	1.4
平野 孝憲	293	1.3

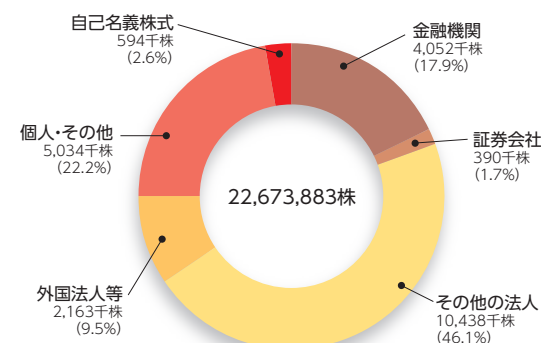
(注) 1. 当社は、自己株式を594,285株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

グループ会社

会 社 名	主要な事業内容
子会社	
新豊食品株式会社	砂糖等の加工および包装
株式会社ドゥ・スポーツプラザ	総合フィットネスクラブの運営
ニューポート産業株式会社	冷蔵倉庫・港湾運送業
ツキオカフィルム製薬株式会社	箔押事業・食用純金箔事業
他	およびフィルム事業 他
関連会社	
新東日本製糖株式会社	精製糖等の製造
新光糖業株式会社	国産分蜜糖の製造、販売
新中糖産業株式会社	不動産賃貸業
日本ポート産業株式会社 他	冷蔵倉庫業 他

所有者別株式分布状況



株主還元について

2018年3月期の期末配当金について

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に株主資本利益率(ROE)向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。利益配分につきましては、連結配当性向(DPR)60%、または連結株主資本配当率(DOE)3%のいずれか大きい額を基準に配当を行います。2018年3月期の期末配当につきましては、上記配当方針を本決算数値に適用し算定した金額(1円未満切上げ)※から実施済みの1株当たり中間配当額35円を差し引いて算定した結果、1株当たり35円を期末配当額とさせていただきます。

※〔1株当たり年間配当額の算定式〕

連結配当性向(DPR)60%基準

期末1株当たり連結当期純利益84.90円の60% = 51円(1円未満切上げ)

連結株主資本配当率(DOE)3%基準

期末1株当たり連結自己資本2,302.13円の3% = 70円(1円未満切上げ)

連結株主資本配当率(DOE)3%基準70円の方が大きいため、70円を1株当たり年間配当額とします。

株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主の皆様に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として、2016年3月期より、毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上の株式を保有されている株主様を対象に、その保有期間に応じて、当社製品詰め合わせをお届けしております。

株主優待制度の内容

保有期間	3年未満	3年以上
優待内容	1,000円相当の自社製品	2,000円相当の自社製品



写真は2017年3月末日基準日の優待品(1,000円相当)
(年度により変更することがあります。)

(注) 1. 「保有期間3年以上」とは、2016年3月31日を起算として、以降、毎年3月31日現在において、当社の株主名簿に同一株主番号で3年以上継続して記載または記録されている株主様(同一の株主番号で100株以上を、3月31日現在、9月30日現在の株主名簿に、7回以上継続して記載または記録されている株主様)といたします。

2. 相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その期末の基準日(3月31日)から起算いたします。

贈呈時期

6月の定時株主総会開催後、7月上旬にかけての発送を予定しております。

7月中旬を過ぎてもお受け取りになられていない株主様は下記あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

日新製糖株式会社 株主優待事務局

(フリーダイヤル) **0120-202-182**

受付時間 平日9:00-17:00(土日祝日を除く) 受付期間 2018年7月2日(月)から8月31日(金)まで

※以降は03-3668-1246(日新製糖株式会社総務部)

株主優待制度の詳細につきましては当社ホームページIR情報「株主の皆さまへ」をご覧ください。

日新製糖グループのCSR

私たちは、CSR経営の推進は経営品質の向上に繋がると考えています。

以下の6つのCSR重点領域を追求することにより、

「公正で透明性の高い経営」「事業を通じたステークホルダーへの貢献」「お客様への満足と安心の提供」の3つの価値観に基づく経営理念の実践に全力を尽くしてまいります。



1. 食と健康を通じた楽しいライフスタイルの提案



2. 環境に配慮した事業プロセスの追求



3. 責任ある原材料調達の実現



4. 安心・安全で高品質な製品・サービスの提供



5. 多様な人々が活躍できる職場環境の推進



6. 地域社会との共生

CSRの基盤となる活動
(コーポレート・ガバナンスなど)

かんたんヨーグルトトライフル

食パンとヨーグルトで作る、見た目にもかわいい、超簡単トライフル。

ヨーグルトの乳酸菌とオリゴ糖は相性がよいので、
より効果的な組み合わせです。

材料 (2人分)

食パン (約1cm厚さ) 1/2枚
コーンシリアル 20g

A [ヨーグルト 150ml
オリゴの王様® 大さじ2

(好みのフルーツ)

キウイ 1/2個
ブルーベリー 10粒程度
バナナ 1/2本
いちご 4~5粒
あればミントの葉 2枚

■ カロリー：1人分 217kcal

■ 調理時間：20分



作り方

- ① 食パンは耳を落とし、1cm角に切る。
- ② ブルーベリー以外のフルーツは、2cmくらいの大きさに切る。
- ③ Aは合わせる。
- ④ 器に食パンを入れ、オリゴの王様®を少々(材料外)をかけ、A、フルーツ、シリアル、A、フルーツと層になるように重ねて盛る。あればミントの葉を飾る。

撮影：松島 均

オリゴの王様®の特長

オリゴの王様®はビフィズス菌増殖促進物質として有効なガラクトオリゴ糖を配合しており、熱や酸に強いため、珈琲や紅茶など温かい飲み物、また毎日のお料理などにも幅広くお使い頂けます。

内容量：250g / オープン価格 お求めはスーパー、小売店にて。



この商品は公式ネットショップでご購入いただけます

1 Sweet
カップ印マーケット



ホームページのご案内

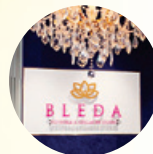
カップシェフ®がさまざまなおいしいレシピを紹介しております。
ぜひご覧ください。

日新製糖レシピ

検索

上質な癒しの空間

地域初! 女性専用
ホットヨガ&
コラーゲンスタジオ
ブレダ新前橋
オープン!



4月20日
グランドオープン

HOTYOGA & COLLAGEN STUDIO

ブレダ新前橋 TEL.027-289-2451

〒371-0844

群馬県前橋市古市町180-1 フォレストモール新前橋内

HOTYOGA & COLLAGEN STUDIO

■ ブレダ伊奈	TEL.048-722-7057	〒362-0813	埼玉県北足立郡伊奈町学園2-188-1 ウニクス伊奈 2F
■ ブレダ浦和美園	TEL.048-884-8301	〒339-0028	埼玉県さいたま市岩槻区美園東2-17-13 ウニクス浦和美園 2F
■ ブレダ南砂町	TEL.03-6659-8202	〒136-0075	東京都江東区新砂3-4-31 南砂町ショッピングセンターSUNAMO 4F ドゥ・スポーツプラザ南砂町内
■ ブレダ上里	TEL.0495-35-0148	〒369-0306	埼玉県児玉郡上里町大字七本木2272-1 ウニクス上里内



ドゥ・スポーツプラザ

ホームページアドレス <http://www.dspnet.co.jp>

■ 豊洲店	TEL.03-6303-6700	〒135-8514	東京都江東区豊洲2-1-14 ららぽーと豊洲アネックス 2F
■ 南砂町店	TEL.03-6659-8201	〒136-0075	東京都江東区新砂3-4-31 南砂町ショッピングセンターSUNAMO 4F
■ 上里店	TEL.0495-35-0145	〒369-0306	埼玉県児玉郡上里町大字七本木2272-1 ウニクス上里内
■ 羽生店	TEL.048-560-1100	〒348-0039	埼玉県羽生市川崎2-281-3 イオンモール羽生 2F
■ 高崎店	TEL.027-327-0738	〒370-0068	群馬県高崎市昭和町204

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) (土日祝日を除く平日9:00-17:00)
(ホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する手続きおよびご照会について】

住所等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、その他の手続きおよびご照会は、下記の各該当先をお願いいたします。

証券会社等の口座に記録された株式…口座のある証券会社等
特別口座に記録された株式……………三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

【特別口座および口座振替について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構) を利用されていなかった株主様のご所有株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された「特別口座」に記録されています。

特別口座では、単元株の売買ができないなどお取引に一定の制限があります。円滑なお取引を行うためにも、特別口座から証券会社等に開設された株主様の口座に株式を振替えること(＝口座振替)をおすすめします。

お手続きの詳細につきましては、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

【未払配当金のお支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

【株式移転にともなう端数処分代金について】

旧 日新製糖株式会社と新光製糖株式会社が当社設立を目的に実施した株式移転(2011年10月)にともない、両社の株主様に対して当社の株式を割り当て交付いたしました。そのうち、1株未満の端数が生じた株主様につきましては、端数処分代金をお支払いたしました(2011年11月に端数処分代金領収証をお送りしております)。

お手続きの詳細につきましては、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

表紙 松成 真理子(イラストレーター・絵本作家)

子供の本を中心に幅広い分野で活躍している。『まいごのどんぐり』(童心社)で児童文芸新人賞受賞。その他絵本に『せいちゃん』(ひさかたチャイルド)、『じいじのさくら山』(白泉社)、『たなばたまつり』(講談社)、『雨ニモマケズ』(あすなろ書房)など多数。



日新製糖株式会社

〒103-8536 東京都中央区日本橋小網町14-1

☎ 03-3668-1246 (総務部)

ホームページアドレス <http://www.nissin-sugar.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。